



| | |
|--|---|
| <p>学校名 [将監中学校] 氏名 [遠藤 晋] [中] 学校 [] 年版 単元名 [心の交流会] p 16～17 教科・領域名 [道徳] [時間 50 分]</p> | |
| <p>主な学習活動 (実際に行った活動)</p> | <p>指導の実際</p> |
| <p>【ねらい】 生きていくことは周囲の人々の支えによる ことが大きいことに気付くとともに、日頃から感謝 の気持ちと思いやりの大切さを理解する。 【内容項目】 2-(2) 人間愛・感謝・思いやり 1 資料を読む。</p> | <p>【導入にあたって】 ・ 雰囲気作りのために、p 4～5を活用 し、被災の状況や避難所生活など、東日 本大震災時に体験したことを発表させ、 当時を想起させた。</p> |
| <p>【発問】 雄勝中の生徒が、雑巾を「丁寧に繰り返し洗っ て使った」のはどうしてだと思いますか。</p> |  |
| <p><生徒の反応> ・ 雄勝中のためのメッセージ入りの雑巾だか ら大切に使おうと思った。 ・ 復興への気持ちが詰まった雑巾だから ・ 粗末に扱ったら失礼 ・ 様々な人から励ましのメッセージをいただ いたことによる感謝の気持ち ・ 生出中の生徒たちが一枚一枚丁寧に書いて くれたメッセージ入りだったから。</p> |  |
| <p>【発問】 生出中の生徒が胸にした「今までとは違った思 い」とは、どんなことでしょう。</p> | |
| <p><生徒の反応> ・ 太鼓の演奏を通して、仲を深められてうれ しかった。震災の被害を乗り越えてがんばっ てほしい。 ・ 交流会を通して一緒になれた一体感。 ・ 善意が返ってきてうれしいと感じた。 ・ 今までは同情や支援をしてあげようという 気持ちだったが、雄勝中の被災をしながらも がんばる姿に尊敬のような思いを抱いた。</p> | <p>資料から学んだこと・感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちはあまり被害に遭わなかった が、次また大震災が起きたら、被災し た人々を助けられるような行動をしよ うと思った。 ・ 災害というものは誰にも変えられな い運命だが、支援の仕方です笑顔や元 気へと変えられるということが分かった。 ・ このような大震災のような、いざと う時は支え合える仲間がいるとい うことがとても重要だということをし 学んだ。 ・ 当たり前の生活に感謝しなければい けないと思った。 |
| <p>2 教師の説話を聞く。 ・ 離れた人同士でも支え合うことができる。 ・ 気持ちを通わせること、思いやりの大切さ。 ・ 生きていくことは人々の支え合いが大きい。</p> | |